

へいせい26ねんどだい3かいしょう とうじしやしえんぶろじえくと かいぎろく
平成26年度第3回 障がい当事者支援プロジェクト 会議録（かいぎろく）

にちじ へいせい26ねん12がつ16にち ひ
日時：平成26年12月16日（火）13：30～15：30

ばしよ みえけんしんたいしょうがいしやそうごうふくしせんたーだいけんしゅうしつ
場所：三重県身体障害者総合福祉センター大研修室

さんかしゃ ぶろじえくとめんばー10めい じむきょく3めい
参加者：プロジェクトメンバー10名、事務局3名

1. 自己紹介

- さんかめんばーひとり かんたん じこしょうかい
・参加メンバーが一人ずつ簡単な自己紹介をしました。

2. 障がい当事者支援プロジェクトの目的の確認

- じむきょく たんとうしや ぶろじえくと もくてき せつめい
・事務局の担当者から、プロジェクトの目的が説明されました。
- ぶろじえくと もくてき しょう くらしやしういしやかい
・プロジェクトの目的は、「障がいがあってもなくても暮らしやすい社会にし
ていくにはどうすればよいかを考えるための場所」です。

3. 障がい当事者支援プロジェクトのルールについて

- じむきょく たんとう ぶろじえくと まもってほしいるーる つたえられました
・事務局の担当から、プロジェクトで守って欲しいルールが伝えられました。

①さんかめんばーぜんいん いけん い じぶん
①参加メンバー全員が意見を言いあえるようにすること。そのために、自分だ

けでなく、他の人の意見もきちんと聞くこと。

②これから考えたいこと、やりたいことはできるだけ参加メンバーの間に

きめること。手伝いが必要なことがあれば担当者に伝えること。

③わからないことがあればいつでも質問すること。聞かれた人は教えてあげること。

④このプロジェクトで聞いた他のメンバーの個人情報勝手に他の場所ではべらないこと。

4. 前回(11月)話し合ったこと

・事務局の担当者から、前回話し合ったことが説明されました。

・前は、お互いのことを知るというテーマで、「障がいがあることでいやだったこと」、「周りの人たちにわかってほしいこと」、「仕事のこと」などについて話し合いました。

・自分の生きづらさが周りの人にわかってもらいにくいので困っているという意見がたくさんあがりました。また、そのために将来の不安が大きいとか、自分の障がいを受け止めにくなっている、という意見もありました。

・また逆に、障がいのあるなしに関係なく、自分のことをわかってくれる仲間と過ごせることはうれしいとか、障がいという言葉愛情を持ってありのままを受け止める言葉として使っていきたいという意見もありました。

・働き方はいろいろでしたが、自分にあった働き方ができていない人はつらい思いをされているようでした。

・第3回も、お互いのことを知るために自由な話し合いを続けることになり

ましたが、「^{じぶん}自分が^{こまって}困っていることを^{ほか}他の^{ひと}人にわかってもらうための^{つたえかた}伝え方

という^てテーマで^ま話し合いたいという^{いけん}意見が出ました。

5. ^{はなしあい}話し合い

・ ^{ぜんかい}前回^{きめ}決めた^たとおりに、^{おたがい}お互いの^{しる}ことを知るための^{はなしあい}話し合いを^{つづ}続けました。

・ ^{こんかい}今回は、「^{じぶん}自分が^{こまって}困っていることを^{ほか}他の^{ひと}人にわかってもらうための^{つたえかた}伝え方

という^てテーマで^ま話し合いました。

・ ^い以下は^{さんかしゃ}参加者から^あ挙がった^{おも}主な^{いけん}意見です。

○ ^{じぶん}自分が^{はなす}話す^{あいて}相手のこと

・ ^{あいて}相手側^がの^{つごう}都合で^{じぶん}自分の^{はなし}話を^き聞き入れて^いもらえないことがある。

・ ^{はなし}話を^き聞いて^いて^くれない^{せいかく}性格の^{わる}悪い^{ひと}人がいる。

・ ^{じぶん}自分が^{はな}話さなければ^{あいて}相手は^{じぶん}自分の^{こと}ことを^わわから^{ない}と思う^{けど}、^{あいて}相手にも

^{はなし}話し^{やすい}やすい^{ふん}雰囲気^いを作^つって^ほほしい。

・ ^み見た目^では^わわかって^{もら}いに^くい^{じぶん}自分の^つらさ^ががある^が、^{あいて}相手からは

「^{だい}大丈夫」と^す済ま^{され}て^しまいがち。

○ ^{じぶん}自分が^{あいて}相手に^{つた}伝える^{とき}に^{おも}思う^{こと}、^こ心が^けけている^{こと}

・ ^ちちょっとした^{こと}ことは^{じぶん}自分^でできると^{あいて}相手に^{おも}思われて^しま^いそう^で、^た頼^みに^くい

・ ^{つた}伝える^{こと}に^{ゆう}勇^気がある。

- ・お人よしの性格なので、本当の気持ちをなかなか言えない。
- ・相手に反抗していると思われることが心配。
- ・時間をかけて伝えていくしかない。
- ・わかりやすく伝えることが大切。
- ・福祉の専門家や親への気持ちの伝え方が難しい。自分のことを管理しようとする人に、自分の本当の気持ちを伝えるにはどうすればよいかわからない。
- ・自分のことは結局自分しかわからないはずなので、自信を持って伝えたい。
- ・仲間が自信を持てるよう支えていきたい。

○これから考えてみたいこと、やりたいこと

- ・いろいろな障がいのある人が集まる場所でお互いの情報を交換して、支いあえるような関係づくりをしたい。
- ・最近、障害者差別解消法という法律ができて、障がいのある人が困らないような社会のしくみを作っていくことが必要になっているので、そのための県のきまり（＝条例）をみんなで考えたい。
- ・障害のある人が困ったときに周りの人が助けることができるようになるためにはどんなことが必要かもっと考えたい。
- ・気持ちの伝え方にはいろいろな方法があると思うので、その人らしい伝え方で

つたえて
伝えていけるとよいと思う。おも
う。たとえば、うた
歌のようなものでもよい
のではないか。

5. 次回のこと

・ 第4回は、障がいのある人が困ったときに周りの人が助けることができる

ようになるためにはどんなことが必要か、またそのために自分たちはどんな

ことができるかを考えることになりました。